

## 「北海道近現代史研究会」の活動状況について

2019年8月15日は「北海道命名150年」の節目に当たり、これを契機に蝦夷地・北海道史の探求への関心が道内でも高まっています。

こうしたなか、当研究所でも、2019年度より、北海道の近現代史に関する研究会を設置し、近世期以降の蝦夷地・北海道の地方自治および社会インフラの整備などに関する調査・研究に着手しました。

2019年度は、次年度以降の研究会としての活動のスタートに向けた準備期間と位置づけ、「北海道史研究プロジェクト」の仮称のもと、主に基本的な情報収集に取り組みました。

2020年度からは、研究会名を「北海道近現代史研究会」と決定し、活動を本格化させるとともに、行政機構の変遷、アイヌ民族の近世・近代史、ロシアを中心とする諸外国との関係を基軸として、北海道の近現代史の多角的な調査・研究を進めています。

本研究会の2019～21年度の活動は以下のとおりです。

### 【2019年度】

#### (1) 旭川市内の史跡・文化施設等の視察

- 日 時 2019年7月15日（月）
- 視察先 北鎮記念館／兵村記念館／旧永山戸長役場／川村力子トアイヌ記念館／旭川市博物館 ほか

#### (2) 第1回学習会

- 日 時 2019年7月29日（月）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容  
講演「北海道150年と地方自治－医師で開拓者（陸別）・関寛斎の足跡を辿ってみえること」  
講師：竹中英泰 氏（旭川大学名誉教授）

→ 本学習会の内容は、所報2019年9月号（第608号）に掲載。  
竹中英泰「関寛斎の足跡から見える明治の北海道」

**(3) 第2回学習会**

- 日 時 2019年8月3日(土) 15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 5F 第3会議室
- 内 容

講演「アイヌ文化と北海道」

講師：本田優子 氏(札幌大学教授)

→ 本学習会の内容は、所報2020年1月号(第612号)に掲載。  
本田優子「アイヌ文化と北海道」

**(4) 小樽市内の史跡・文化施設等の視察**

- 日 時 2019年9月18日(水)
- 視察先 小樽市公会堂／小林多喜二文学碑／旭展望台／  
JR小樽駅周辺の歴史的建造物／小樽市総合博物館本館／  
小樽市鯉御殿 ほか

**(5) 第3回学習会**

- 日 時 2019年10月11日(金) 15:30～17:30
- 会 場 北海道自治労会館 3F 第1会議室
- 内 容

講演「北海道150年の光と影～「開拓」と“地方自治”をめぐる」

講師：谷本晃久 氏(北海道大学大学院教授)

→ 本学習会の内容は、所報2020年3月号(第614号)に掲載。  
谷本晃久「北海道150年の光と影－「開拓」と「地方自治」をめぐる」

**(6) 札幌村郷土記念館の視察・ヒアリング**

- 日 時 2019年11月20日(水) 14:00～15:00
- 会 場 札幌村郷土記念館 1Fロビー
- テーマ 札幌村郷土記念館の設立経緯、展示物の概要、運営体制・事業の現状など
- 対応者 玉井晶子 氏(札幌村郷土記念館保存会 事務局長)  
山田治仁 氏(札幌村郷土記念館 館長)

→ 本ヒアリングのレポートは、所報2020年5月号(第616号)に掲載。  
正木浩司「大友亀太郎の事績と札幌村の生活史を伝える  
－「札幌村郷土記念館」を訪ねて」

## 【2020年度】

### (1) 第4回学習会

- 日 時 2020年7月17日（金）13:00～16:00
- 会 場 旭川市まちなか市民プラザ・会議室1  
（旭川市1条通8丁目108 Feeeal 7 F）
- 内 容  
講義「近世の蝦夷地における日露関係についてーラクスマンおよびレザノフの  
来航を中心に」  
講師：竹中英泰 氏（旭川大学名誉教授／当研究所理事）

→ 本学習会の内容は、所報2020年9月号（第620号）に掲載。  
竹中英泰「近世期の蝦夷地における日ロ関係史について  
ー現代の北海道の地方自治との関わりを中心に」

### (2) 第1回現地視察

- 日 時 2020年8月5日（水）～8日（土）
- 訪問地 函館市、松前町、江差町、木古内町
- 主な視察先
  - ・ 函館市（1日目・4日目）  
碧血碑／函館市立博物館本館／高田屋嘉兵衛銅像／旧ロシア領事館／  
函館ハリストス正教会／北海道坂本龍馬記念館／五稜郭跡 ほか
  - ・ 松前町（2日目）  
松前藩屋敷／寺町エリア／松前城天守閣（資料館）／松前町郷土資料館／  
国鉄旧松前線松前駅跡 ほか
  - ・ 江差町（3日目）  
旧関川家別荘／旧中村家住宅／江差町郷土資料館／旧江差線江差駅跡 ほか
  - ・ 木古内町（3日目）  
木古内町郷土資料館（いかりん館）

→ 本視察のレポートは、所報2020年11月号（第622号）に掲載。  
・ 正木浩司「北海道近現代史研究会・第1回現地視察レポート  
ー函館市・松前町・江差町を訪ねて」  
・ 三輪修彪「アイヌモシリの行方と松前」

### (3) 北海道労働文化協会主催「第41回全道勤労者文学歴史探訪」への参加

- 日 時 2020年9月26日（土）9:00～17:00
- テーマ さっぽろ文化遺産の再発見
- 訪問地 札幌市中央区・南区・東区

- 主な視察先  
北電藻岩発電所と藻岩犠牲者の碑／石山緑地（石山軟石採掘所跡）／  
旧石山郵便局（ぼすとかん）と定山溪鉄道・石切山駅跡／北海道鉄道技術館／  
札幌村郷土記念館とその周辺（本龍寺、大友公園）
- 特別講演「札幌の文化財」（講師＝山川伸也・札幌市職員）

→ 本件のレポートは、所報2021年1月号（第624号）に掲載。  
正木浩司「文化遺産の視察を通じて札幌の近代史を学び直す  
－「第41回全道勤労者文学歴史探訪」に参加して」

#### （４） 第5回学習会

- 日 時 2020年10月28日（水）15:00～17:10
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容  
講演「北海道開拓から開発へー産業資本の移植・形成からその特徴を考える」  
講師：小田 清 氏（北海学園大学名誉教授）

→ 本学習会の内容は、所報2021年1月号（第624号）に掲載。  
小田清「北海道開拓から開発へ  
－産業資本の移植・形成からその特徴を考える」

#### （５） 第2回現地視察

- 日 時 2020年11月5日（木）～7日（土）
- 訪問地 北見市、佐呂間町、美幌町、網走市
- 主な視察先
  - ・ 北見市（1～2日目）  
常紋トンネル工事殉難者追悼碑・殉職者之墓／真言宗白竜山遍照院／  
北光八幡神社（坂本直寛顕彰碑ほか）／ピアソン記念館／  
北網圏北見文化センター／端野町歴史民俗資料館／鎖塚の区域／  
ところ遺跡の森 ほか
  - ・ 佐呂間町（2日目）  
栃木神社（開基五十周年記念碑ほか）／佐呂間町開拓資料館
  - ・ 美幌町（3日目）  
美幌博物館
  - ・ 網走市（3日目）  
博物館網走監獄／道立北方民族博物館／モヨロ貝塚館／網走市立郷土博物館

- 本視察のレポートは、所報2021年3月号（第626号）に掲載。  
正木浩司「北海道近現代史研究会・第2回現地視察レポート  
ー北見市・佐呂間町・網走市を訪ねて」

#### (6) 第6回学習会

- 日 時 2021年2月26日（金）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容  
講演「アイヌの景観史」  
講師：瀬川拓郎 氏（札幌大学教授）

- 本学習会の記録は、所報2021年5月号（第629号）に掲載。  
瀬川拓郎「アイヌの景観史ー上川盆地の地形・生態系適応の歴史を例に」

#### 【2021年度】

##### (1) 第3回現地視察

- 日 時 2021年10月13日（水）～16日（土）
- 訪問地 根室市、厚岸町、標茶町、釧路市、鶴居村
- 主な視察先
  - ・ 根室市（1～2日目）  
ノッカマフ1・2号チャシ跡／根室市北方領土資料館／望郷の岬公園／  
納沙布岬灯台／道立北方四島交流センター／根室国後間海底電信線陸揚施設／  
ラクスマン来航記念碑「歴史の然」／根室市歴史と自然の資料館 ほか
  - ・ 厚岸町（2日目）  
厚岸町海事記念館／厚岸神社／厚岸町郷土館／蝦夷三官寺・国泰寺跡／  
厚岸町太田屯田開拓記念館 ほか
  - ・ 標茶町（2日目）  
標茶町博物館ニタイ・ト／北海道集治監釧路分監本館（復元） ほか
  - ・ 釧路市阿寒（2～3日目）  
阿寒湖の森ナイトウォーク「カムイルミナ」／まりも観察センター／  
阿寒湖畔エコミュージアムセンター／阿寒湖アイヌコタン ほか
  - ・ 鶴居村（3日目）  
「雪裡発祥の地」の石碑
  - ・ 釧路市（3～4日目）  
鳥取神社・鳥取百年館／マリン・トポスくしろ／釧路市立博物館 ほか

- 本視察のレポートは、所報2022年3月号（第638号）に掲載。  
正木浩司「北海道近現代史研究会・第3回現地視察レポート  
－根室市・厚岸町・標茶町・釧路市を訪ねて」

## （2） 第7回学習会

- 日 時 2021年10月15日（金）16:00～18:00  
※ 上記第3回現地視察の実施期間中に釧路市内で開催。
- 会 場 釧路市生涯学習センターまなぼっと 7F 学習室703
- 内 容  
講演「樺太での生活経験と全国樺太連盟の活動について」  
講師：岩崎守男 氏（元樺太連盟釧路支部長）

- 本学習会の記録は、所報2022年3月号（第638号）に掲載。  
岩崎守男「樺太での生活経験と全国樺太連盟の活動について」

## （3） 第4回現地視察

- 日 時 2021年10月29日（金）
- 訪問地 石狩市、当別町、月形町、浦臼町、奈井江町、三笠市
- 主な視察先
  - ・ 石狩市  
聚富開拓之碑／伊達邦直主従北海道移住の地碑
  - ・ 当別町  
伊達記念館・伊達邸別館／当別神社
  - ・ 月形町  
篠津山霊園・樺戸監獄死亡者之碑／月形樺戸博物館／曹洞宗北漸寺 ほか
  - ・ 浦臼町  
坂本龍馬家の墓／浦臼町郷土史料館
  - ・ 奈井江町  
伊達邦直公上陸之地碑
  - ・ 三笠市  
旧空知集治監典獄官舎レンガ煙突跡

## （4） 北海道労働文化協会主催「第42回全道勤労者文学歴史探訪」への参加

- 日 時 2021年10月30日（土）9:00～17:00
- テーマ さっぽろ開拓の歴史をたどる
- 訪問地 札幌市西区・手稲区

- 主な視察先  
五天山公園・水車小屋／手稲山口バツタ塚／山口運河／発寒神社／春日緑地／  
琴似屯田兵村兵屋跡／琴似神社／屯田の森
- 特別講演「札幌の屯田兵」（講師＝山川伸也・札幌市職員）

→ 本件のレポートは、所報2022年1月号（第636号）に掲載。

正木浩司「札幌開拓の残照を西区・手稲区に辿る

－「第42回全道勤労者文学歴史探訪」に参加して」

#### （5） 紋別市の現地視察

- 日 時 2021年12月26日（日）  
※ 外国人共生研究会の紋別市視察（12月27日）に合わせて実施。
- 視察先 紋別市立博物館、紋別巖島神社

※ 講師等の所属・役職名は研究会開催当時のものです。

以上